

格したものに對しては、知事が保母資格証明書を与えることとなっております。一部の科目に合格したものは、翌年および翌々年に限り当該科目の受験を本人の願出により、免除しております。

○受験資格 次の各号の一に該当する者

- (1) 学校教育法により高等学校(中等学校令による中等学校を含む)卒を業した者

若しくは通常の課程による十二年の学校教育を終了した者または文部大臣においてこれと同等以上の資格を有すると認め

定した者

- (2) 満十八歳に達してから、児童福祉施設において三年以上児童の保護に従事した者
- (3) 前各号に掲げる者のほか、厚生大臣において適当な資格を有すると認定した者
- (4) 学校教育法による高等学校を昭和四十五年三月卒業見込の者

○試験科目の時間割及び試験場所

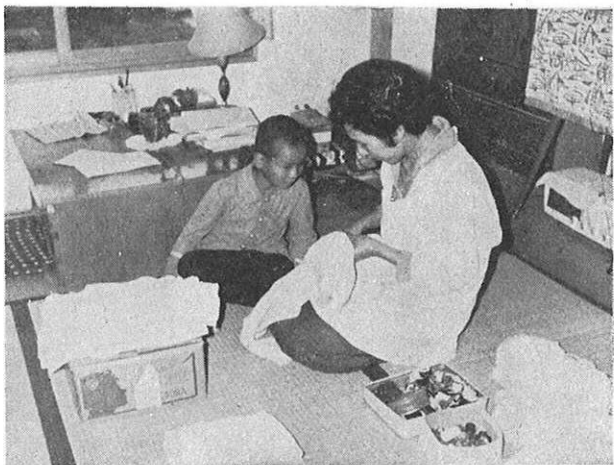
○受験申込の手続 熊本県保母試験受験申込書(県指定の用紙)に必要な書類を添付して、市に居住する者については市福祉事務所に、町村に居住する者については県福祉事務所に一月二十八日から二月十日(郵送の場合は二月十日の消印があれば有効)までに提出してください。

受験料は熊本県収入証紙千円を申込書にちよう付して納入することになっております。

なお、一月二十七日から二月二日まで、熊本県立図書館ホールにおいて、県および県社会福祉協議会共催で保母資格取得準備講習会を全科目について開催しますのでご利用ください。

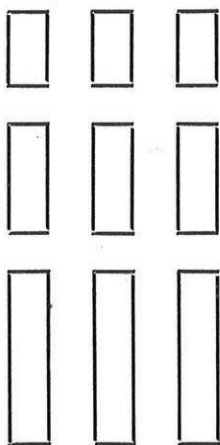
以上、保母試験について詳しいことは各福祉事務所または県婦人児童課へお問い合わせください。

(婦人児童課)



県政の話題

# 「武蔵ヶ丘」 ニュータウンの開発



大津街道と言えは杉並木が目に浮ぶ。亭々とした老杉はおおかたの年輪に達しているが、その昔参勤交代の往還であったという壮大な街道のおもかげは今も変りない。

「武蔵塚」の北側で縦貫道と国道五七号が直交する。この地点から豊肥線を越えて北西に広がる畑地の中に「武蔵ヶ丘団地」が開発される。遠く阿蘇の噴煙を望む牧歌的なこの畑地帯は、最近、市街化の波と工場立地、情報化時代の高速交通網の展開などでにわかに活力がみなぎってきた。

「武蔵ヶ丘団地」付近は、縦貫道をはさみ、市の「楠団地」、労住協の「沖畑団地」が既に開発を始めており、数年後には面積百十三ヘクタール、住宅五千五百戸、人口約二万二千人の新しい住宅都市が誕生することになる。

## 住宅需要と団地の大型化……★

熊本市における宅地取得難、住宅難は郊外へのスプロール、公営住宅、分譲住宅等への応募状況が如実に示している。

熊本市の六十万都市に対応する住宅の需要は二十年間(四十一～六十年)に十五万二千戸と予測される。新県計画は六十年までにそれを実現しようと策定している。六十年の世帯数は、細分化の傾向から十九万二千世帯位になるとみられるが四十三年の住宅統計調査によると住宅総数は十万四千四百八十戸であるから四十四年以降八万七千五百戸の新規と四万五千戸の建て替を合わせると十三万二千五百戸の建設が必要となる。

当面の関心は戦後のベビーブームの世帯形成期が差し迫っていることである。この人達の成長過程では社会的に大きな問題を胎み対策が講じられてきた。これらの多くは都市に集中しており今後短

期間に大量の低家賃住宅の供給を必要とする。

このような住宅需要に對処して熊本市の都市計画的な立場から民間、公的機関の住宅建設をどのように誘導して住みよい環境の都市をつくり上げるかは今後の重要な課題である。

市街地の再開発、高層化は都市機能を高める上に重要な施策でありまた一方庄倒的需要と庶民の夢である「土地つき庭つき住宅」の需要も対策上、都市の重要な構成要素である。

しかし宅地住宅の大量供給は、地価の異常な値上りや用地買収方式、家賃・分譲等のコスト面からすると現行制度では住宅の郊外化が必然という現実を皮肉なことである。

したがって、住宅団地は都市施設の不備な周辺部へ開発を余議なくされるので勢い大型化せざるを得ない。

住宅団地が大型化、遠隔化すると交通、生活環境、都市施設、行政、周辺部落等に関する多岐な問題が生じてく

月日	時間	試験科目	試験場所
三月四日 (水)	九、〇〇～九、一〇 九、一〇～九、四〇 一、〇〇～二、三〇 一、三〇～一、五〇 一、五〇～二、五〇	受験上の注意 社会福祉事業一般 保健衛生学及び生理学 看護学及び実習 保育理論	熊本市大江二丁目 七番一号 熊本女子大 学
三月五日 (木)	九、三〇～一、〇〇 一、一〇～二、〇〇 二、〇〇～二、四〇 二、四〇～三、三〇	児童福祉事業概論 児童心理学 精神衛生 栄養学及び実習	
三月六日 (金)	九、三〇～一、一五 一、〇〇～一、三五 一、一五～一、三五 一、三〇～一、三〇	保育実習(筆記) " (絵画製作実技) " (言語実技)	
三月七日 (土)	九、三〇～一、〇〇 一、二〇～二、〇〇 一、〇〇～一、〇〇 一、〇〇～一、〇〇	保育実習 (器楽及び音楽実技)	